

経済情勢に関する検討会合（第5回）議事要旨
(平成23年5月10日（火）8:42～8:57 於：院内大臣室)

- 出席者：内閣総理大臣、内閣官房長官、経済財政政策担当大臣、国家戦略担当大臣、金融担当大臣、財務大臣、経済産業大臣、日本銀行副総裁（オブザーバー）、仙谷・福山・瀧野内閣官房副長官、末松内閣府副大臣、細野内閣総理大臣補佐官

【概 要】

○開会（与謝野経済財政政策担当大臣より：略）

○議題：「政策推進のための全体指針」の案について（内閣府松山政策統括官（経済社会システム担当）及び国家戦略室日下部審議官より説明：略）

○自由討議

（海江田経済産業大臣）「主要政策の進め方」の「国と国の絆の強化に向けた戦略」のところで、FTAAP/EPAのところを読んだが、これではあまり何を言っているのかわからない。「検討する」というところだけが目立つが、やはり昨年11月の閣議決定した方向性を確認し、その上で具体的な進め方・あり方を検討していくという、わかりやすい、明確なメッセージにしていきたい。内閣の方針として世界に発信されるものであるから、これをどう英語に訳すのかわからないし、検討だけするという印象が残るが、基本的な考え方を堅持することをしっかりと示し、その上で具体的な問題については検討するという書き方がよろしいかと思う。

（玄葉国家戦略担当大臣）いまの海江田大臣の御発言はごもっともだが、他の閣僚もおられる閣僚懇談会があるので、その場で議論していただいて、最終的な取りまとめとしていきたい。

（与謝野大臣）「政策推進のための全体指針」については、このあとの閣僚懇談会でも議論し、閣議決定した後に、公表することとなる。

○総理締め括り挨拶

（菅内閣総理大臣）本日は前回に続き、大震災後の「政策推進のための全体指針」について話し合った。特にこの中では、社会保障と税の一体改革、成長戦略、環境・エネルギー戦略、包括的経済連携、農業の再生などの課題を、震災前に引き続いてどのように進めていくのかという議論、この場と同時に、この後の閣議の後、閣僚懇談会で、全閣僚の下でこの議論を重ねてお願いすることになっている。

いずれにしても、この指針・方針に沿って、新たな再スタートを切る、そういう覚悟で望んでまいりたいと思うので、今日は日銀からもきていただいているが、日本全体の政策推進の方向として、一つの指針としてまいりたいと思うので、皆さんの御努力をお願いしたい。

○閉会（与謝野大臣より：略）

(以 上)